

インクジェットハンディープリンタ

取 扱 説 明 書

品名	品番
B71S	64040341
B71XS	64040331

**ユニオンケミカル株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 3-10

URL : <http://www.union-c.com/>お問合せ先 Mail : info1@woccs.jp

内容

1	一般情報	4
1.1.	はじめに	4
1.2.	製品紹介	4
1.3.	責任の範囲	4
1.4.	免責事項	4
1.5.	品質保証	5
1.6.	注意事項	5
2.	安全上の注意	5
2.1.	電気に関する安全上の注意	5
2.2.	操作に関する安全上の注意	6
2.3.	インクに関する安全上の注意	6
3.	製品構成	7
4.	製品仕様	8
5.	内容物一覧	9
6.	印刷までの流れ	9
7.	メインインターフェース	11
8.	編集	11
8.1.	新規印字ファイルの作成	11
8.2.	追加	13
8.2.1.	文章（テキスト）の追加	13
8.2.2.	二次元コードの追加	13
8.2.3.	バーコードの追加	14
8.2.4.	画像の追加	15
8.2.5.	時刻の追加	15
8.2.6.	カウンターの追加	16
8.2.7.	データベースの追加	16
8.2.8.	スキャン内容の追加	17
8.3.	印字設定	17
8.3.1.	B71S 設定画面	18
8.3.2.	B71XS 設定画面	18
8.4.	編集	19
9.	U ディスク	20
9.1.	画像インポート	20
9.2.	データベースのインポート	21
9.3.	フォントのインポート	25
9.4.	エクスポート	26
10.	システム	26
10.1.	時刻設定	26
10.2.	言語設定	26
10.3.	デバイス初期化	26
10.4.	通知音設定	27

10.5.	カートリッジ設定	27
10.6.	電源設定	27
10.7.	印字設定	28
11.	管理	28
11.1.	グループ印字	28
11.2.	ジョブ管理	28
12.	デバイス情報	29
13.	メンテナンス	29
14.	インクカートリッジ保守	31
15.	トラブルシューティング・エラーメッセージ	32
16.	カスタマーサービス	32
17.	製品に関する FA	32

1 一般情報

1.1. はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、製品を安全にご使用いただくために必要な仕様、印字までの手順、トラブルシューティングなどについてご説明するものです。ご使用前に本書をよくお読みいただき、製品の機能・性能を十分にご理解のうえ、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

1.2. 製品紹介

本ハンディスタンププリンタは、テキスト、二次元コード、バーコード、画像、タイムスタンプ、連番、データベース、カウンターなど、複数形式の非接触型インクジェット印字を可能にする携帯型プリンタです。識別、ラベリング、物流、資産管理、倉庫業務などに最適です。紙、プラスチック、金属、木材など幅広い素材に安定した印字が可能です。Linux ベースのシステムを採用し、4.3 インチの多言語対応タッチスクリーンを搭載しています。印字内容の編集、設定、管理を容易に行えます。また二次元コードやバーコードを直接読み取るスキャナが内蔵されています。

1.3. 責任の範囲

（本製品の使用において、当社が責任を負わない行為・状況について記載しています）

弊社は、以下に起因する損害に対して一切の責任を負いませんのでご注意ください。

- ・ この説明書の指示に従わなかった場合
 - ・ 正しい使用方法を行わなかった場合
 - ・ 必要な知識、資格のない作業員に使用させた場合
 - ・ 弊社の承認および許可を得ずに改造等を行った場合
- * カートリッジのインクは溶剤系インクです。ご使用時には、安全データシートに記載された内容を十分ご確認ください。
- * 材質によって印字が消えない場合がございますので、ご使用前に、目立たない箇所で印字テストを行ってください。
- * 必ずお子様の手の届かない場所に保管し、お子様が触れないよう十分にご注意ください。
- * 仕様変更により、実際の製品が本書の記載内容や図と異なる場合があります。また、仕様は予告なく変更されることがあります。
- * 本製品を既定の使用目的以外で使用した場合、または改造等により本来と異なる形で使用された場合には、保証の対象外となるうえ、思わぬ事故や故障の原因となる恐れがあります。

1.4. 免責事項

（保証対象外となる条件について記載しています）

以下の条件に該当する場合は、保証の対象外となります。

- ① 消耗品（インクカートリッジ、ノズル保護カバー、メモリースティック、電源アダプタ、バッテリー、ボタン電池、カートリッジラッチカバー等） ただし、インクカートリッジ開封直後の初期印字時に不良が発生した場合は、当該カートリッジを無償で交換いたします。
- ② 不適切な輸送、使用、保管、メンテナンス、または人為的な損傷により不具合が発生した場合
- ③ 使用者による修理、分解、組み立てにより不具合が発生した場合
- ④ 弊社が提供していない部品または消耗品を使用したことにより不具合が発生した場合

- ⑤ 合格証明書を紛失、または改ざんされた場合
- ⑥ 保証期間を超えた場合
- ⑦ 地震、火災、水害、落雷などの自然災害やその他の不可抗力により不具合が発生した場合

1.5. 品質保証

- ・本製品の保証期間は 6 か月とします。保証期間の開始日は、弊社からの製品発送日とします。
- ・プリンタ本体およびカートリッジについては、初期不良の場合に限り、無償交換にて対応いたします。

また、保証期間内に通常使用により発生した不具合については、初期対応として代替機を手配し、弊社にて不具合の状況を確認のうえ、対応方法を決定いたします。

なお、修理対応は承っておりませんので、あらかじめご了承ください。

1.6. 注意事項

- ① 純正品以外のインクカートリッジは使用しないでください。
- ② 異常が見られた場合は、「トラブルシューティング」セクションをご確認ください。
部品を故意に取り外したり分解したりすると、故障の原因となります。
- ③ インクカートリッジのチップを取り外さないでください。使用できなくなる可能性があります。
- ④ プリンタ本体の清掃時には、溶剤や洗剤を使用しないでください。
乾いたやわらかい布で拭いてください。
- ⑤ プリンタを可燃性物質に触れさせない
- ⑥ 印刷終了後は、インクカートリッジのノズルが乾燥しないよう、ノズル保護カバーを取り付けてください。
- ⑦ インクカートリッジを長期間使用しない場合は、カートリッジクリップを装着してください。
- ⑧ 結露を発生させないようにしてください。また高温多湿の環境下に長時間放置しないでください。
電気回路に異常が発生する恐れがあります。
- ⑨ 使用前および使用後には、インクカートリッジおよびプリンタ本体の状態を点検してください。
- ⑩ 落下や強い衝撃を避けてください。内部部品が破損する恐れがあります。
- ⑪ 保管時はプリンタを専用ケースに入れて保管してください。
長期間保管する場合は、高温・多湿・直射日光を避け、屋内の冷暗所で保管してください

2. 安全上の注意

安全に使用し、事故や怪我を防止するため、以下の注意事項を必ず遵守してください。

2.1. 電気に関する安全上の注意

- ・使用前に電源コンセントが正しく接地されていることを確認してください。
- ・純正以外の電源アダプタは使用しないでください。
電圧不安定や機器破損の原因となります。
- ・感電防止のため、湿気の多い環境では使用しないでください。

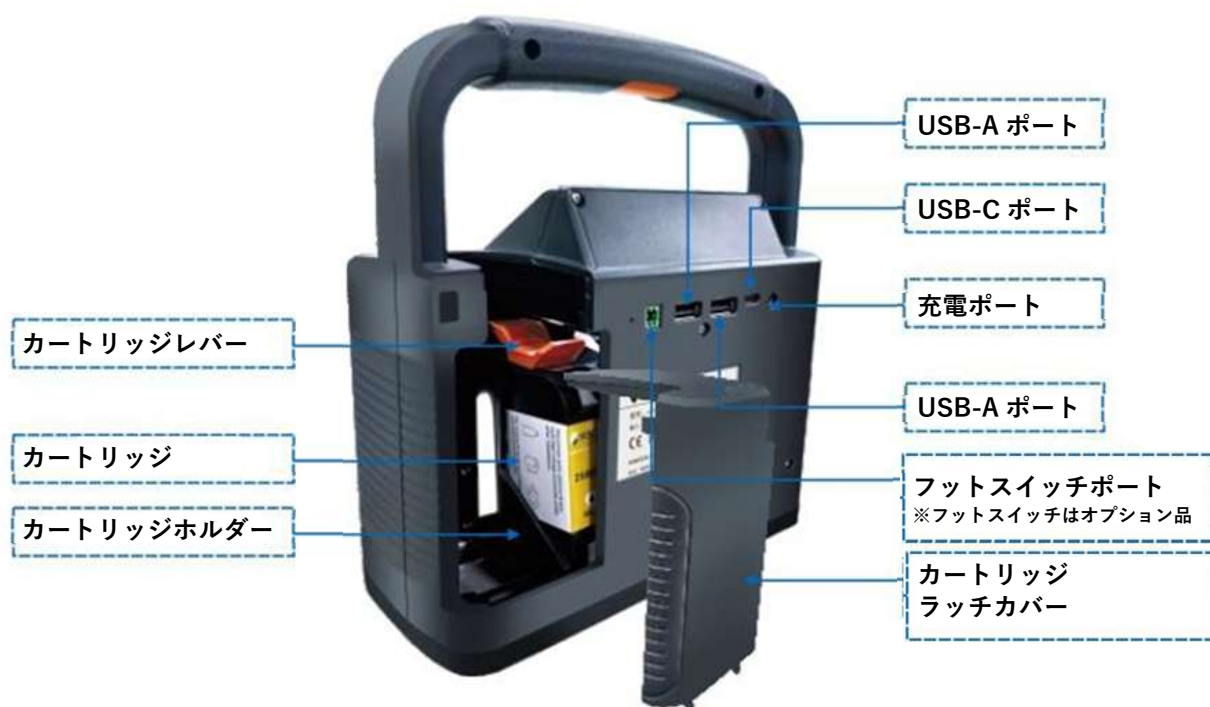
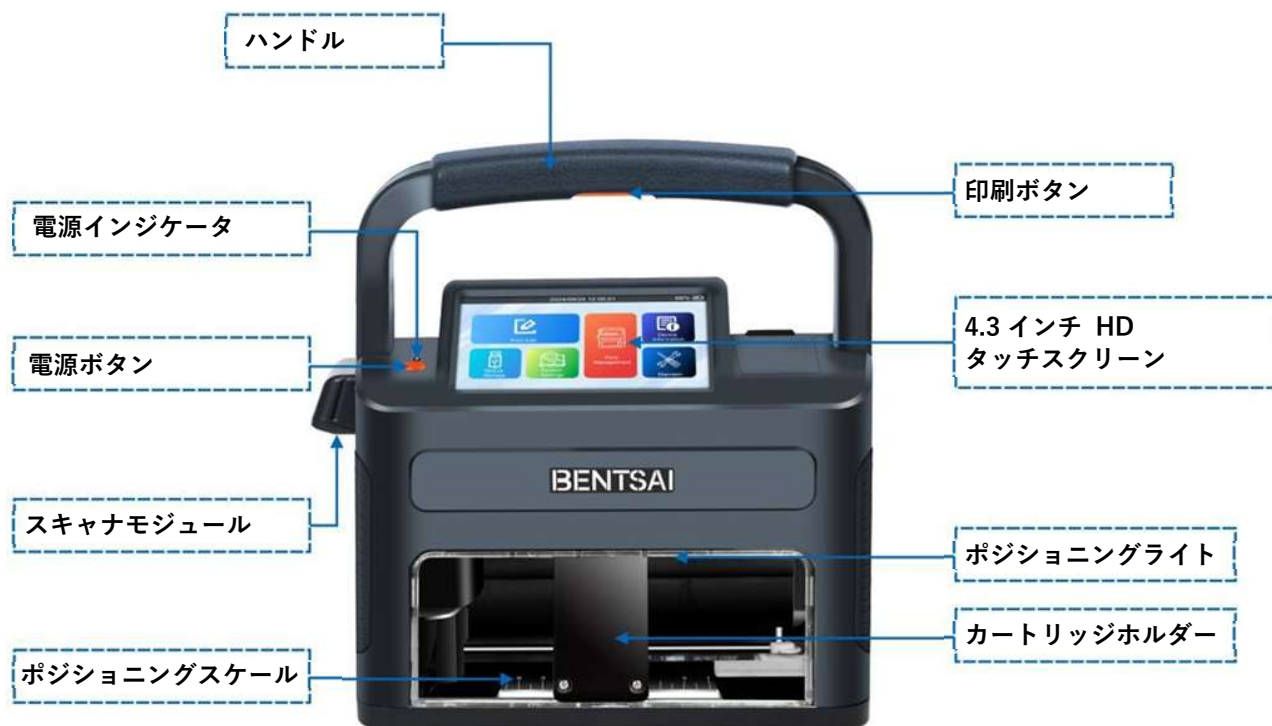
2.2. 操作に関する安全上の注意

- ・通電後、未訓練または許可されていない方による分解は禁止されています。
- ・インクカートリッジは指示に従って正しく装着してください。
誤挿入はチップ破損の原因となります。
- ・印字中はプリントヘッドに触れないでください。汚染や印字品質低下の原因となります。

2.3. インクに関する安全上の注意

- ・インクは直射日光や高温（35℃以上）を避け、涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ・インクが皮膚や目に付着した場合は、直ちに清水で洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・必ず純正インクおよびアクセサリーを使用してください。
指定外製品による不具合は保証対象外となります。

3. 製品構成



4. 製品仕様

項目	内容
表示部	4.3 インチ HD タッチスクリーン
オペレーティングシステム	Linux
対応言語	日本語、英語、中国語
内蔵メモリ	8GB
バッテリー	3200mAh（最大動作時間：約 8 時間）
使用環境	保管温度：-20℃～55℃ 動作温度：5℃～35℃湿度：10%～80%
モーター	ステッピングモーター
入出力ポート	USB-A ×2、USB-C ×1、DC 電源ポート、フットスイッチポート
インディケーターライト	緑色：準備状態、青色：印刷待機状態、赤色：警告状態（印字不可） ※印刷完了時一瞬緑になりすぐに青に戻る
使用形態	ハンディタイプ
電源入力	DC 9V/2A
外部電源アダプタ	入力：AC 100～240V / 出力：DC 9V 2A
付属品	インクカートリッジ×1、USB メモリ×1、AC/DC 電源アダプタ×1
印字方式	サーマルインクジェット印字方式
コーディング／マーキング種別	文字、ロゴ、二次元コード、バーコード、日付、データベースなど
対応画像形式	JPG、PNG、BMP
対応バーコード形式	Code 128、Code 39、EAN-8、EAN-13、UPC-A、UPC-E、ITF-14
対応二次元コード形式	QR コード、データマトリクス、GS1 データマトリクス
フォント	Yahei、FullYahai、FullYahaiMatrix、GenShinGothic（源真ゴシック） USB スティックを使用して他のフォントを追加可能です。 トゥルータイプフォント（ttf 形式）のみ使用可能。 本ソフトでは「源真ゴシック」をご使用いただけます。 http://jikasei.me/font/genshin/ Licensed under SIL Open Font License 1.1 (http://scripts.sil.org/OFL) © 2015 自家製フォント工房, © 2014, 2015 Adobe Systems Incorporated, © 2015 M+ FONTS PROJECT
印字対応素材	プラスチック、ガラス、金属板、アルミ箔、ケーブルなど
印字長さ	2mm～85mm（可変）
インク吐出距離	2mm～5mm（ノズルプレートと印字対象物の距離）
印字高さ	B71S：0.8mm～12.7mm（1～5 行） ※0.5 インチカートリッジ「BB22BT-880」のみ対応 B71XS：1.6mm～25.4mm（1～10 行） ※1 インチカートリッジ「ES22B」のみ対応
解像度	600dpi/300dpi
最大印字サイズ	0.5 インチ：12.7mm × 85mm、1 インチ：25.4mm × 85mm
階調設定	1～5
最大印字速度	100mm/秒
インクカートリッジ色	黒
外形寸法	218mm × 98mm × 200mm
質量	950g
梱包サイズ／重量	325mm × 152mm × 300mm / 3010g

5. 内容物一覧

- ・プリンタ ×1
- ・インクカートリッジ ×1
- ・電源アダプタ ×1
- ・USBフラッシュドライブ（ファイルインポート用） ×1

6. 印刷までの流れ

手順 1：プリンタの充電

AC アダプタをコンセントに接続し、プリンタの充電ポートに接続し充電をおこないます。

充電が完了したら、プリンタの充電ポートの接続を外します。

充電した状態でも使用可能です。

本装置は外部電源または内蔵バッテリーで動作します。

手順 2：電源投入

電源ボタンを長押しし、画面が点灯してホーム画面が表示されるまで待ちます。



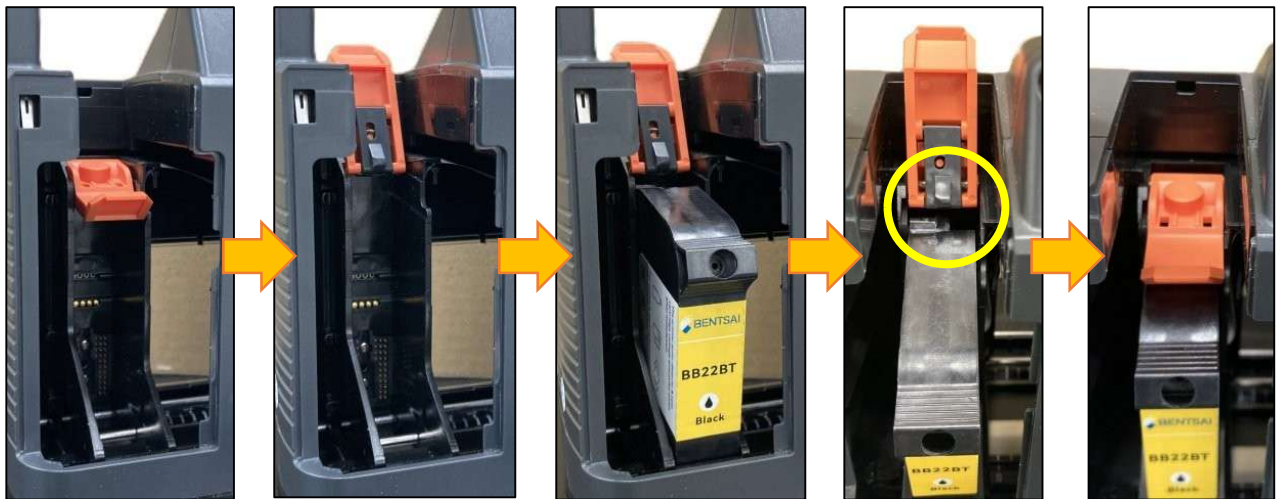
手順 3：言語および時刻設定

「システム → 言語設定」から表示言語を設定します。

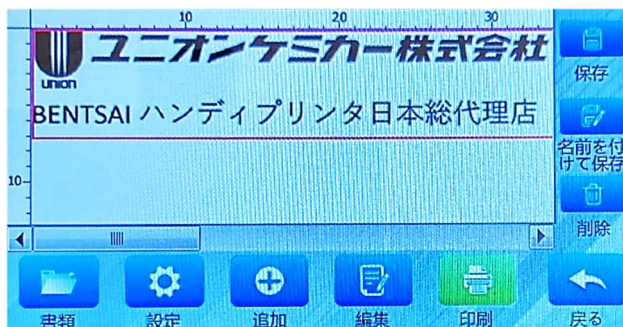
「システム → 時刻設定」からシステム時刻を設定・補正します。

手順 4：インクカートリッジの装着

- ①カートリッジラッチカバーを開きます。
- ②カートリッジのクリップを外し、ノズルをワイパーでクリーニングします。
- ③スロットのレバーを上げて、レバーの爪がカートリッジの爪が合う位置までカートリッジをスロットに挿入し、レバーを下げて「カチッ」という音がするまで押し込みます。
- ④カートリッジラッチカバーを閉じます。
ラッチカバーが正常に取り付けられていない場合は、印刷を実行できません。
- ⑤認識されると、画面上に検出完了が表示され、適切な設定が自動で適用されます。
※印刷中の場合は、キャンセル → 確認 を押し、印刷を停止してからカートリッジを脱着してください。



手順 5：印刷デザインの編集と印刷



- ・メインインターフェースから「編集」を選択し、印刷内容を編集・選択します。
「8.印刷編集」を参考にしてください。
- ・印刷したい箇所にプリンタをセットし、「印刷」を選択します。
- ・印刷ボタンを一度押すと、ハンディプリンタから「ピッ」という音が鳴り、自動的にカートリッジホルダーが左右に移動します。
- ・印刷が完了すると、ハンディプリンタから再度「ピッ」という音が鳴ります。
- ・ハンディプリンタを印刷面から離します。
- ・「キャンセル」をタッチして印刷を終了します。
- ・必要に応じて、「印字設定」画面で、グレースケール（印字濃度）、解像度、印字位置、プリントヘッド反転、カートリッジ設定を行います。

※ここでの設定は編集中的ファイルのみに適用されます。

システム共通設定は「システム設定 → 印字設定」で行ってください。

手順 6：電源 OFF

- ・電源ボタンを長押しし、「電源をオフにします。」という表示に対して「確定」を選択し、ハンディプリンタの電源を切ります。
- ・カートリッジを取り外し、付属の純正クリップを装着してください。

7. メインインターフェース



メイン画面は以下の6つの主要モジュールで構成されています。

編集

テキスト、二次元コード、バーコード、画像、カウンター、データベースなどを含む印字ファイルの作成・編集を行います。

管理

保存されたジョブファイルのグループ印字設定、削除、名称変更が可能です。

Uディスク

印字ファイル、画像、データベース、フォントのインポート・エクスポートを行います。

システム

印字・カートリッジ設定、時刻、言語、電源管理などを設定します。

デバイス情報

機種情報、シリアル番号、ファームウェア、バッテリー状態、印字回数、インク残量などを表示します。

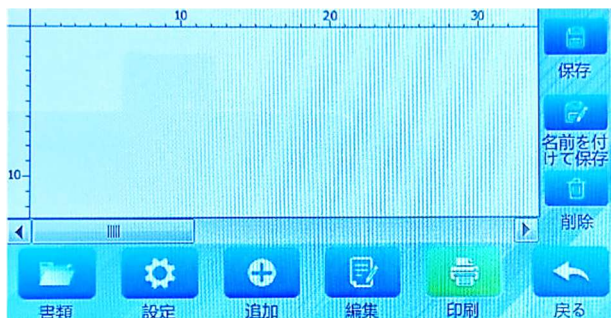
メンテナンス

ノズル清掃、印字テスト、ファームウェア更新を行います。

8. 編集

8.1. 新規印字ファイルの作成

メイン画面から「編集」をタップすると、空白キャンバスが開きます。



・書類 → 新規作成

この状態から印字オブジェクトの追加・編集を行います。

- 書類 → 開く

「ファイルを検索中です。しばらくお待ちください」と表示され、内部ストレージをスキャンして編集可能なファイル一覧が表示されます。

- 保存

編集完了後、「保存」をタップし、ファイル名を入力すると内容が保存されます。

- 名前を付けて保存

新しい名称を入力することで、元のファイルを保持したまま別名保存が可能です。

- 削除

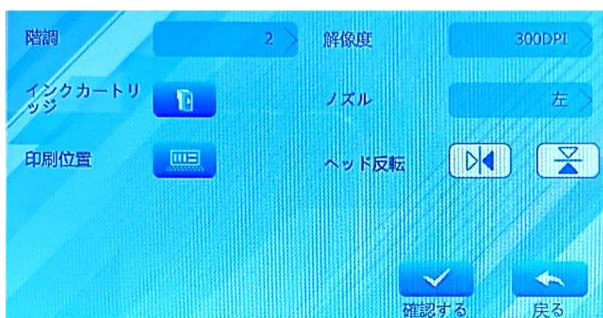
現在開いているファイル、またはキャンバス上のオブジェクトを削除します。

- 印刷



「印刷ボタン」を押すと印刷をおこないます。

- 設定

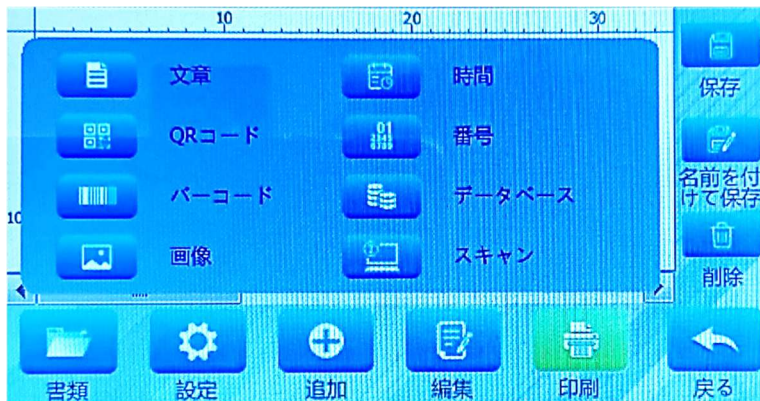


グレースケール、解像度、印字位置、プリントヘッド反転、カートリッジ設定を行います。

※1 インチモデルではパレット QR 印字設定も可能です。

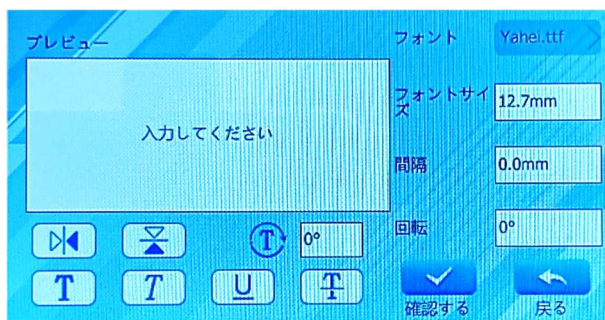
- **階調（グレースケール）**：1～5 の 5 段階から設定します。5 が最も濃い印字になります。
- **解像度**：300dpi または 600dpi から選択可能です。
- **印刷方向**：左から右、または右から左を選択できます
- **ノズル**：左ノズル／右ノズル／両方（※B71S プリンタのみ対応）
- **電子スケール**：数値を下げると印刷濃度が薄くなり、インクの消費を抑えることができます。
- **速度**：B71S プリンタ（0.5 インチ）：連続モード時に 20～500 mm/s（1.2～30 m/分）
B71XS プリンタ（1 インチ）：20～250 mm/s（1.2～15 m/分）
- **印字開始位置**：0～500mm（光電モードで使用）

8.2. 追加



文章（テキスト）、時刻、二次元コード、カウンター、バーコード、データベース、画像などのオブジェクトを追加できます。また、スキャン機能を使用して実物のバーコードやQRコードを読み取り、編集・印字することも可能です。

8.2.1. 文章（テキスト）の追加



- ・ **フォント**：標準フォントは「Yahei」。外部フォントのインストールも可能
「9. U ディスク」を参照してください。
- ・ **フォントサイズ**：0.5インチモデルは12.7mm、1インチモデルは25.4mmが初期値
- ・ **文字間隔**：初期値0mm。任意に調整可能
- ・ **回転**：全体回転。初期値0°
- ・ **反転**：水平／垂直反転に対応
- ・ **単文字回転**：個別文字ごとに回転設定可能（有効時は斜体不可）
- ・ **フォントスタイル**：太字、斜体、下線、取り消し線に対応

8.2.2. 二次元コードの追加

文字列を直接入力するか、データベースを使用して連続可変二次元コードを生成できます。データベースの追加方法は「9.2 データベースのインポート」および「8.2.7 データベースの追加」を参照してください。

[追加] → [二次元コード] を選択し、文字列を入力するとコードが生成されます。プレビュー下で符号化形式や各種パラメータを設定し、[確定] をタップするとキャンバスに配置されます。



- ・ **符号化形式**：QR、データマトリクス、GS1データマトリクス
- ・ **文字列**：二次元コード生成用の文字列を入力
- ・ **サイズ**：初期値はハーフインチ機種で12.7mm、1インチ機種で25.4mm
- ・ **回転**：0° ～360° （初期値0° ）
- ・ **余白**：0～3mm（0.1mm単位で調整可能）

8.2.3. バーコードの追加



バーコード文字列を直接入力するか、データベースから読み込んで可変バーコードを生成できます。データベースについては「9.2 データベースのインポート」および「8.2.7 データベースの追加」を参照してください。

[追加] → [バーコード] を選択し、形式を指定して文字列を入力します。
設定完了後、[確定] をタップするとキャンバスに配置されます。

- ・ **形式**：対応するバーコード形式を選択
- ・ **文字列**：選択した形式の規格に準拠した文字列を入力
- ・ **バーコード表示**：入力内容のプレビューを表示
- ・ **高さ**：ハーフインチ機種：5～16.9mm（初期値12.7mm）
1インチ機種：11.8～56mm（初期値25.4mm）
- ・ **幅**：25.4～169.3mm（0.1mm単位）
- ・ **余白**：ハーフインチ機種：0～5mm
1インチ機種：0～10.1mm
- ・ **文字位置**：下／上／非表示（バーコードから2mm離して配置）
- ・ **文字サイズ**：ハーフインチ：1～5mm（初期値3mm）
1インチ：1～10mm（初期値6mm）

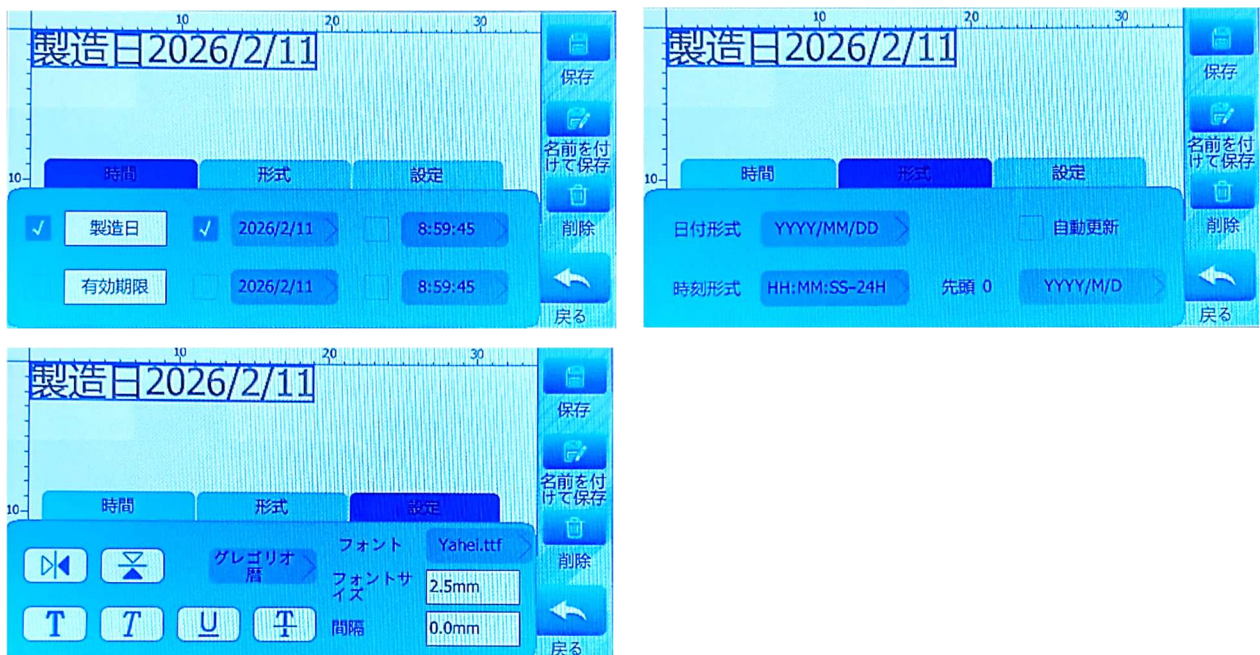
8.2.4. 画像の追加



画像を追加する際は、指定された形式およびサイズ条件を満たしている必要があります。
準備手順およびインポート方法は「9.1 画像インポート」を参照してください。

- ・ **ファイル**：USBメモリを挿入後、[USBメモリ] → [インポート] → [画像] を選択します。
- ・ **画像プレビュー**：拡大率に応じて表示サイズが変化します。
- ・ **横方向拡大率**：10～300%
- ・ **縦方向拡大率**：10～300%
- ・ **縦横比固定**：有効時は比率を保持したまま拡大縮小
- ・ **検索**：ファイル名による検索が可能

8.2.5. 時刻の追加



- ・ **製造日**：選択後に手動編集可能（初期値はシステム時刻）
- ・ **年月日／時分秒**：個別に編集可能
- ・ **有効期限**：選択後に手動編集可能
- ・ **日付形式**：初期値 YYYY/MM/DD
- ・ **自動更新**：有効時はシステム時刻と同期
- ・ **暦**：グレゴリオ暦（ヒジュラ暦、ペルシャ暦、ユリウス暦に対応）
- ・ **時刻形式**：初期値 24時間表記

- ・先頭ゼロ：表示形式を選択可能
- ・フォント設定：文字設定に準拠

8.2.6. カウンターの追加

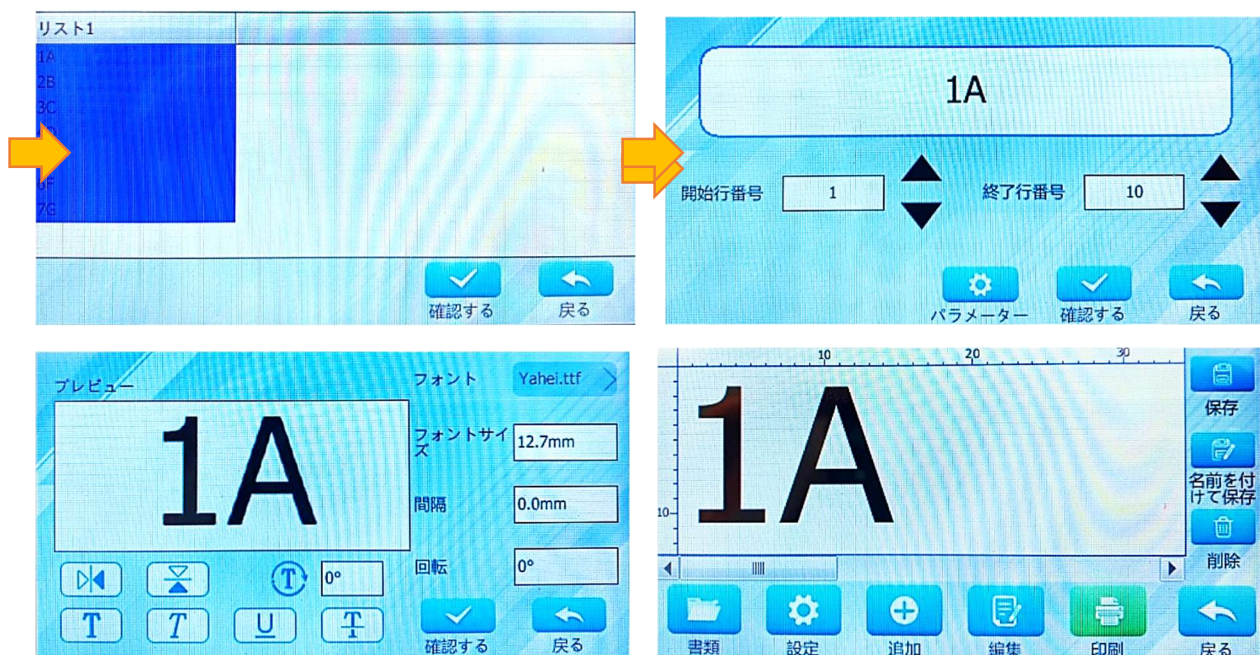


- ・開始値／終了値：範囲を設定
- ・現在値：印字開始番号
- ・ステップ値：増分値
- ・基数：10進数（12／16／32／36進数対応）
- ・先頭ゼロ：固定桁数で表示
- ・自動増減：有効／無効
- ・印字回数：同一番号の印字回数（初期値0）

8.2.7. データベースの追加

データベースを読み込み、可変テキスト、可変QRコード、可変バーコードの印字が可能です。インポート方法は「9.2 データベースのインポート」を参照してください。

有効なファイルを選択後、出力形式（文字／二次元コード／バーコード）を選択し「確定」をタップします。内容は最大3列まで表示され、使用する列を選択できます。



- ・プレビュー：先頭行を表示

- ・ 開始行番号：初期値1
- ・ 終了行番号：選択列の最大行数まで設定可能

8.2.8. スキャン内容の追加



「編集 → 追加 → スキャン」を選択し、コードに向けて印字ボタンを押します。
失敗時は再度印字ボタンを押してください。成功すると自動的に次画面へ進みます。
出力形式「文章（テキスト）／二次元コード／バーコード」を選択し、「パラメータ」から詳細設定を行います。

8.3. 印字設定

グレースケール、解像度、印字位置、プリントヘッド反転、カートリッジ設定を行います。

1 インチモデルではパレット QR 印字設定も可能です。

※ここでの設定は編集集中のファイルのみに適用されます。

システム共通設定は「システム設定 → 印字設定」で行ってください。

8.3.1. B71S 設定画面

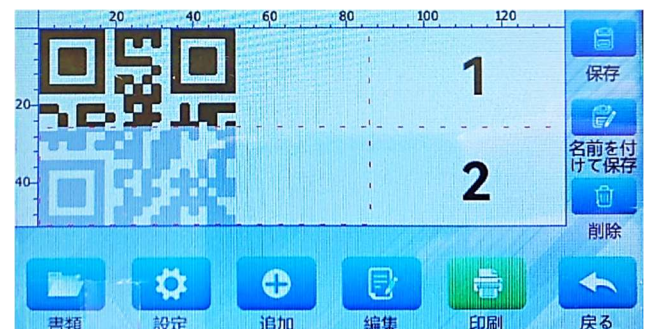


8.3.2. B71XS 設定画面



- ・グレースケール：5段階（初期3）
- ・解像度：0.5インチ＝300/600DPI、1インチ＝300DPIのみ
- ・ノズル選択：左／右（1インチ非対応）
- ・印字位置：横／縦方向設定
- ・カートリッジパラメータ：自動検出（手動調整不要）
- ・ヘッド反転：水平／垂直
- ・パレットQR印字（B71XS専用）：2回に分けて印字することで2インチの印字が可能

専用治具が必要



有効化されると、システムはメインインターフェースに移動し、点線でキャンバスが2つのレーン（レーン1とレーン2）に分割されます。ユーザーはどちらのレーンでもタップして個別に印刷できます。選択がない場合、システムはデフォルトでレーン1を先に印刷し、その後「治具を移動してください」と表示してからレーン2に進みます。

8.4. 編集



編集画面では、キャンバス上の編集オブジェクトの位置を微調整したり、内容を変更したり、縦横比、全体の回転、または文字の向きを調整することができます。

微調整：

まずオブジェクトを選択し、矢印アイコンを使用することで、任意の方向に正確に移動させることができます。1回の調整量は **0.1 mm** です。

微調整モードを終了するには、調整パネルの外側の任意の場所をタップしてください。

修正：

タップすると、選択しているオブジェクトの種類に応じた編集パネルが表示され、内容の変更を行うことができます。

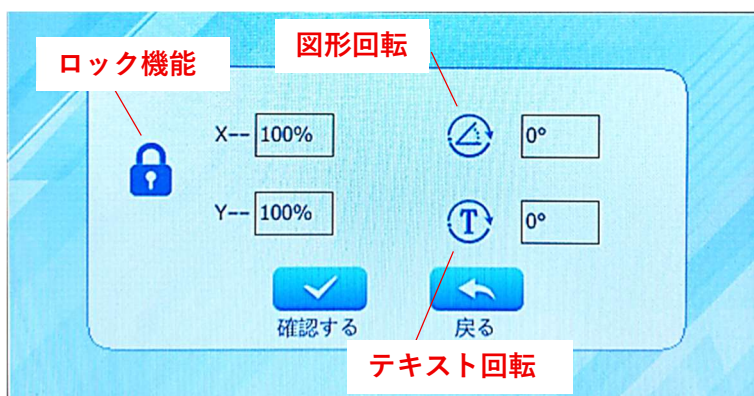
変換：

Lock（ロック）機能を有効にすると、オブジェクトの縦横比が固定されます。

再度アイコンをタップするとロックが解除され、縦横比を自由に調整できます。

「図形回転」はオブジェクト全体の回転を行います。

「テキスト回転」はテキストオブジェクト専用の機能であり、他のオブジェクトタイプでは使用できません。



9. U ディスク



USB メモリを接続すると、印字ジョブ、画像、データベース、フォントをインポートできます。

【USB メモリー使用時の注意事項】

- プリンタに同梱されている USB フラッシュドライブをご使用ください。
- インポートおよびエクスポートするファイル名や画像ファイル名には、**数字および英字（半角）**を使用し、**特殊記号は使用しないでください。**
- インポートを行う前に、USB メモリのルートディレクトリ内にある所定のフォルダへ、各ファイルを正しく配置してください。
- 市販の USB メモリを使用する場合は、プリンタに挿入後することで必要なフォルダが自動的に作成されます。
- **セキュリティ機能付き USB メモリはご使用いただけません。**

9.1. 画像インポート

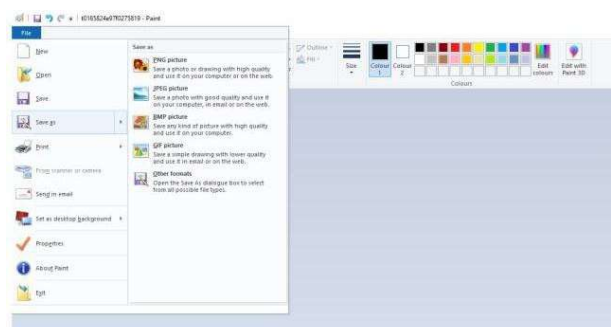
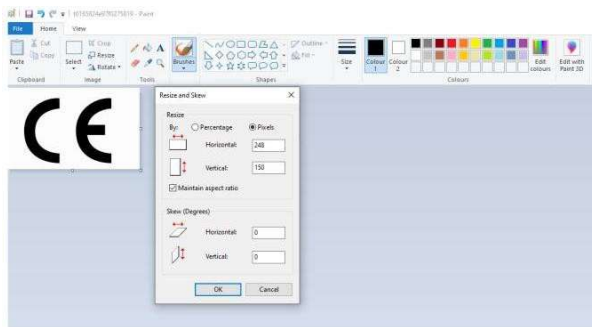
手順1：画像インポート前の準備

Windowsに標準搭載されているペイントツールなどを使用して画像を作成または編集します。

画像を開いた後、「サイズ変更」を選択し、画像のピクセル数を調整してください。

なお、操作方法や画面構成は、Windowsのバージョンによって異なる場合があります。

- **画像の縦方向ピクセル数：最大150ピクセル**
- **ファイル形式：BMP、JPEG、PNG**
- **ファイル名：英数字のみ使用**



手順2：画像のコピーおよびインポート

画像ファイルをUSBメモリ内の「pictures」フォルダにコピーします。

その後、USBメモリをプリンタに挿入し、画像のインポート操作を行ってください。



9.2. データベースのインポート

手順1：データベースの準備

Microsoft Excel または WPS Spreadsheet でデータを入力後、以下の形式で保存します。

- ・ Unicode (.txt) 形式、または CSV 形式
- ・ ファイル名：英数字のみ
- ・ CSV形式の場合：UTF-8形式で保存
- ・ TXT形式の場合：Unicode (.txt) で保存

保存後、Windowsのメモ帳でTXTファイルを再度開き、UTF-8（BOM付き）形式で保存してください。

※BOM付きが選択できない場合は、UTF-8形式で保存してください。

- ・ データベースファイルは、Excel または CSV 形式で作成します。
- ・ ファイル名には英数字のみを使用し、特殊記号は使用しないでください。
- ・ セル内で改行されているデータは、Terapad などのテキストエディッタアプリを使用してください。
メモ帳で編集したファイルはプリンタが認識できません。

■Windows に標準搭載されている「メモ帳」を使用する場合

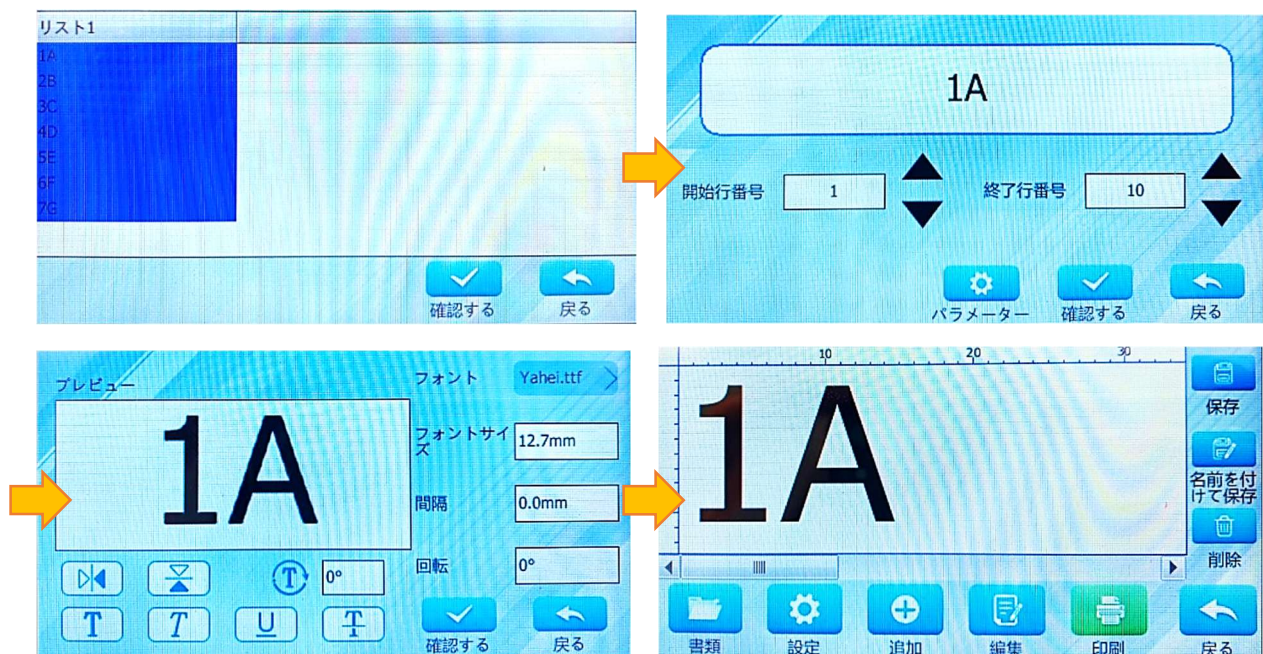
① Excel でデータベースを作成し、「Unicode テキスト (*.txt)」形式で保存します。



② 保存したテキストファイルをメモ帳などの開き、**UTF-8（BOM 付）**で再保存します。



- ③ テキストファイルを、USB フラッシュドライブの「database」フォルダにコピーします。
- ④ USB メモリをプリンタに挿入し、[U ディスク] → [輸入] → [データベース] をタップします。
- ⑤ 一覧からインストールしたいファイルを選択し、[確認] をタップしてください。
- ⑥ 「データのインポートに成功しました」と表示されるまで待ちます。
- ⑦ メイン画面に戻り、「編集 → 追加 → データベース」に進み、ファイルを選択します。
- ⑧ 印刷内容に応じてタイプを選択します：
 - テキストを印刷する → 「可変テキスト」
 - 二次元コードを印刷する → 「可変二次元コード」
 - バーコードを印刷する → 「可変バーコード」
- ⑦印刷を開始する行と終了する行を選択し、[パラメータ] を選択します。フォント、サイズ、行間などを調整し、「確定する」を選択します。 再度編集したい場合は、オブジェクトを選択し「編集」を選びます。



- ⑧ 調整を終えたら「確認する」を選択し、印刷を開始します。
 - ⑨ 印刷が完了すると、「データベースの印刷が完了しました。リセットしてください。」と表示されるので「確認する → キャンセル → 確認する」を選択します。
- 再度印刷したい場合は、同様にオブジェクトを選択し、「編集 → 修正」から開始行番号を修正して

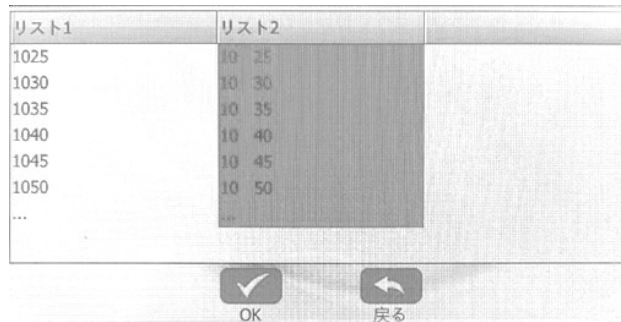
「確認する」を選択します。

■Excel セル内でスペースを使用する場合

Excel セル内でスペースを使用する場合、全角スペースは形式変換時に文字間が詰められるため使用しないでください。

半角スペースは正常に機能します。

	A		B
1	10	25	10 25
2	10	30	10 30
3	10	35	10 35
4	10	40	10 40
5	10	45	10 45
6	10	50	10 50



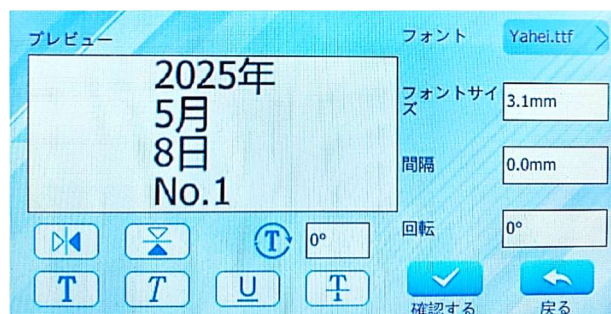
■セル内で改行されているデータを使用する場合

Windows に標準搭載されている「メモ帳」でうまくいかない場合

「Tera Pad (<https://tera-net.com/>)」など、エディター機能を備えたアプリケーションをご使用ください。

セル内で改行されているデータの例

	A	B	C	D
	2025年			
	5月			
	8日			
1	No.1			
	2025年			
	5月			
	8日			
2	No.2			
	2025年			
	5月			
	8日			
3	No.3			

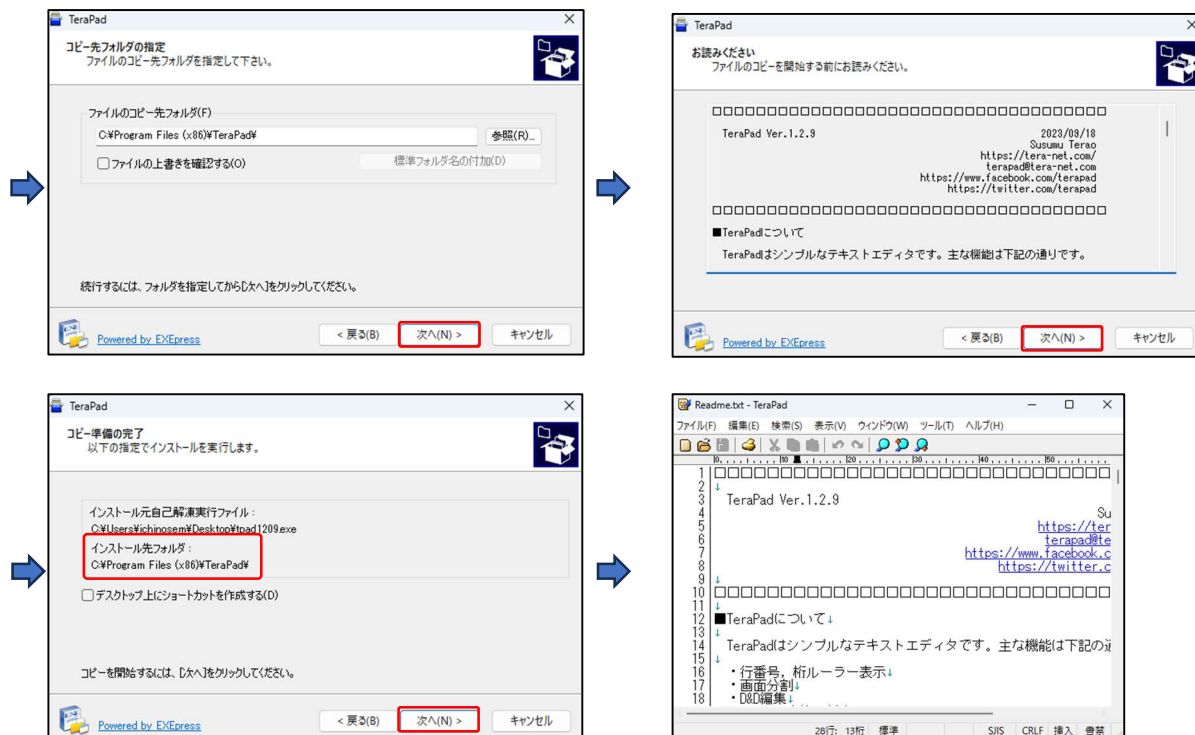


- ① HP から Terapad の実行ファイル (tpadXXXX.exe) をダウンロードし、PC にインストールします。
インストール先フォルダを記録しておきます。(以下の例では「C:\Program Files (x86)\Tera Pad」)

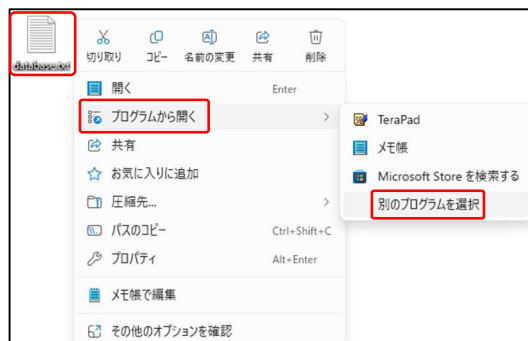
ダウンロード

- [tpad1209.exe \(1.31MB\)](#) (インストール付き) (※インストールはWindows2000非対応)
- [tpad1209.zip \(683KB\)](#) (※Windows2000で使用する場合はこちらをダウンロード)
- [TeraPad旧バージョンのダウンロード](#)
- [TeraPadツールのダウンロード](#)
- [TeraPadツールのヘルプ](#)



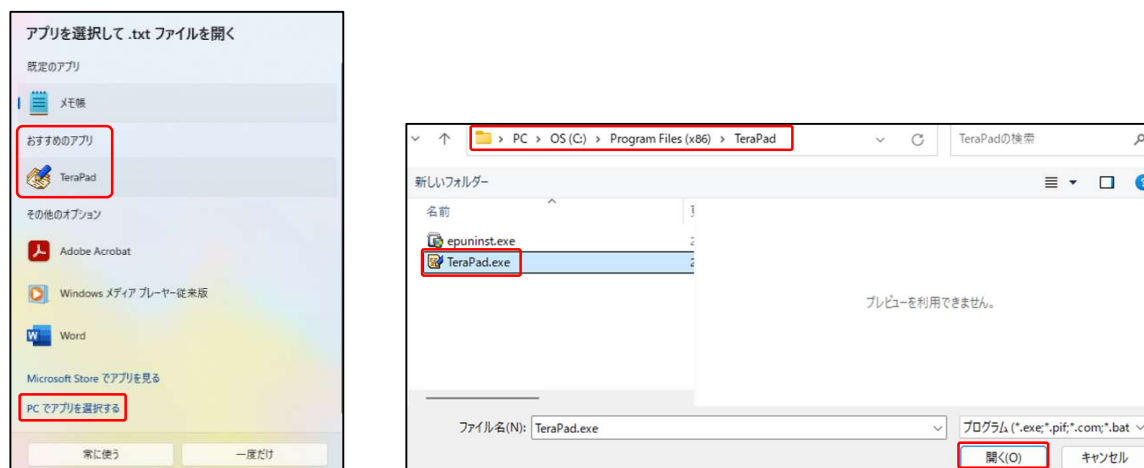


- ② 編集したいテキストファイルを右クリックし、「プログラムから開く」→「Tera Pad を選択」
Tera Pad が表示されていない場合は、「別のプログラムを選択」し、③に進みます。

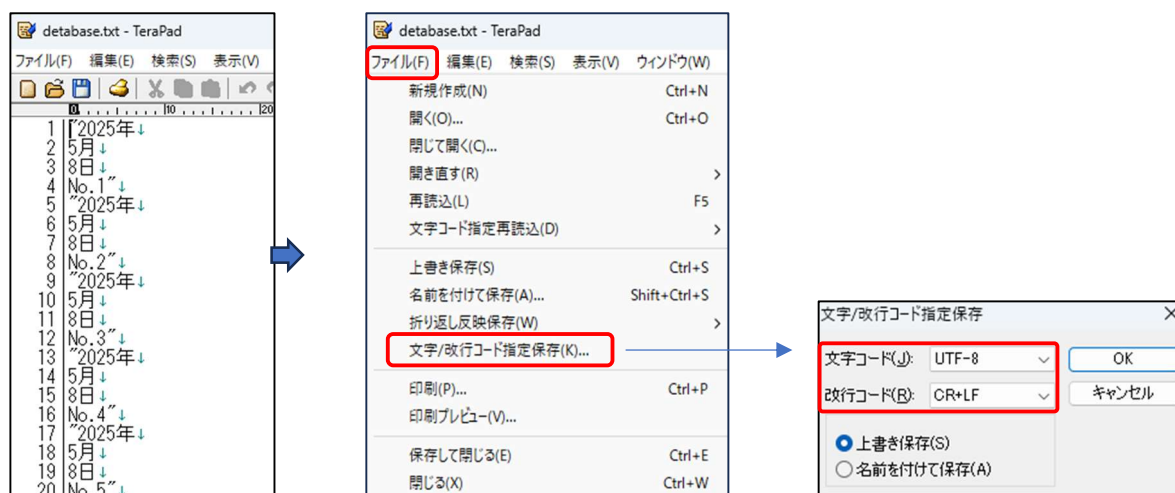


- ③ おすすめのアプリに「Tera Pad」が表示されている場合は「Tera Pad」を選択し、「常に使う」もしくは「一度だけ」を選択します。

「Tera Pad」が表示されていない場合は「PC でアプリを選択する」を選択します。
記録していたインストール先フォルダ（例では「C:\Program Files (x86)\Tera Pad」）に進み、TeraPad.exe を選択し、「開く」を選択すると、おすすめのアプリに「Tera Pad」が表示されるので「常に使う」もしくは「一度だけ」を選択します。（PC の設定によっては.exe は表示されません。）



- ④ 編集したいテキストファイルを「Tera Pad」で開いたら、「ファイル」→「文字/改行コード指定保存」に進み、「文字コード：UTF-8」、「改行コード：CR+LF」を選択し保存します。保存したファイルは「Windows に標準搭載されている「メモ帳」を使用する場合」③以降の手順に従ってプリンタで編集してください。



9.3. フォントのインポート

手順1

TTF形式のフォントファイルをダウンロードし、USBメモリ内の「fonts」フォルダにコピーします。

手順2

USBメモリをプリンタに挿入し、[USBメモリ] → [インポート] → [フォント] をタップします。

一覧からインストールしたいフォントを選択し、[インストール確認] をタップしてください。「フォントのインストールが完了しました」と表示されるまで待ちます。

☐	名前	日付	種類	サイズ
☒	GenShinGothic-Regular	2026/01/26 12:44	ttf	4 MB
☐	GenShinGothic-Medium	2026/01/26 12:44	ttf	4 MB
☐	GenShinGothic-Normal	2026/01/26 12:44	ttf	4 MB

9.4. エクスポート

エクスポート機能の画面構成は、インポート機能と同一ですが、操作の流れは逆になります。印字ジョブ、画像、データベース、フォントをUSBメモリへ書き出すことが可能です。

10. システム



システム設定画面では、時刻、言語、デバイス初期化、通知音、カートリッジ管理、電源設定、印字設定を行うことができます。各設定項目により、使用環境や用途に応じた最適な動作にカスタマイズできます。

10.1. 時刻設定

システムの日付および時刻の表示形式を設定し、デバイス内部時計の調整および補正を行います。

10.2. 言語設定

プルダウンメニューから、システムで使用する言語を選択できます。

10.3. デバイス初期化

この操作によりすべてのデータが消去されます。

必要に応じて事前にバックアップをおこなってください。

システム設定の初期化

「初期設定に戻しますか？」という確認メッセージが表示されます。

確認後、システム設定は工場出荷時の状態に戻ります。

内部メモリの消去

「内部ストレージを消去しますか？」という確認メッセージが表示されます。
確認後、内部に保存されているすべてのユーザーデータが削除されます。

10.4. 通知音設定

通知音設定画面では、以下の7項目を設定できます。

- ・ マスター音量スイッチ
- ・ 電源オフ通知音
- ・ タッチ操作音
- ・ 印字通知音
- ・ バッテリー残量低下警告音
- ・ インク残量低下警告音
- ・ スキャン成功通知音

マスタースイッチをオフにすると、すべての通知音が無効になります。
オンにした場合のみ、各通知音が個別に有効となります。

10.5. カートリッジ設定

本機は、使用しているカートリッジが水性か溶剤系かを自動判別し、適切な設定を自動的に適用します。

通常、手動での設定変更は不要です。

10.6. 電源設定

位置決めライト

印字位置を正確に確認するための照明です。

明るさ調整

画面の明るさを調整します。

設定範囲：10%～100%（初期値：60%）

印字中の画面オフ

有効にすると、印字中に画面が自動的に消灯し、印字完了後に再点灯します。

待機時減光

一定時間操作がない場合、画面の明るさを最小にします。

初期値：10秒（変更または無効化可能）

待機時画面オフ

一定時間操作がない場合、画面を消灯します。

初期値：1分（変更または無効化可能）

操作を行うと画面が復帰します。

自動電源オフ

長時間操作がない場合、自動的に電源をオフにします。

初期値：1時間（変更または無効化可能）

省電力モード

初期状態で有効です。

有効時は、待機時減光、画面オフ、自動電源オフの設定を変更できます。

無効にすると、これらの設定は固定され変更できません。

10.7. 印字設定

本画面では、システム全体に適用される印字設定を行います。

第 7.3 節で設定する印字条件は、編集集中のファイルのみに適用されます。

設定手順自体は両方で共通です。

システム全体の印字条件を設定する場合は本画面を使用し、

ファイル単位で設定する場合は [編集] → [設定] から、第 7.3 節の手順に従ってください。

11. 管理



印字管理画面では、グループ印字の設定およびファイル管理機能を提供します。

ファイルの削除や名称変更などの操作が可能です。

11.1. グループ印字

グループ印字では、複数の印字ファイルを 1 つのグループとして編集し、選択したファイルを順番に連続印字することができます。

- ・ **追加**：本体内に保存されているファイルをグループに追加します。
最大20ファイルまで追加可能です。
- ・ **削除**：選択したファイルをグループから削除します。
- ・ **印字**：編集画面の [印字] ボタンと同様に、印字を実行します。
- ・ **上へ移動／下へ移動**：選択したファイルの順序を、一覧内で上下に移動して変更します。

11.2. ジョブ管理

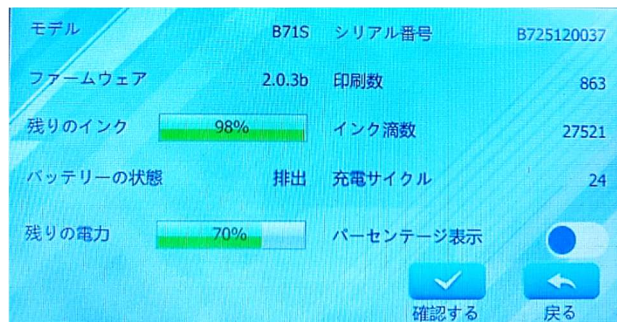
この画面では、保存されている印字ファイルの管理を行います。

不要なファイルの削除や名称変更が可能です。

- ・ **削除**：対象のファイルを選択して削除します。
- ・ **名称変更**：選択したファイルの名称を変更します。

※複数ファイルを選択した場合、最後に選択したファイルのみが名称変更の対象となります。

12. デバイス情報



この画面では、装置の各種情報を確認できます。

製品モデル、シリアル番号、ファームウェアバージョンに加え、印字回数、インク残量、インクドット数、バッテリー状態などが表示されます。

- ・ **モデル**：使用中のプリンタのモデル情報を表示します。
- ・ **シリアル番号**：装置固有のシリアル番号を表示します。
- ・ **ファームウェアバージョン**：現在のファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェア更新後は、この情報も更新されます。
- ・ **インク残量**：カートリッジ内のインク残量をパーセンテージで表示します。
- ・ **印字回数**：プリンタで実行された累積印字回数を表示します。この値はカートリッジ交換後もリセットされず、装置全体の印字履歴として記録されます。
- ・ **インクドット数**：プリンタで消費されたインクドットの総数を表示します。
- ・ **バッテリー状態**：現在の状態を「充電中」または「放電中」で表示します。
- ・ **充電回数**：これまでに充電された回数を表示します。
充電ケーブルの接続または取り外しごとに1回カウントされます。
- ・ **残量表示**：バッテリー残量を緑色のバーで表示します。
パーセンテージ表示は初期状態では非表示です。
- ・ **パーセンテージ表示**：初期状態では無効です。有効にすると、画面右上を含め、バッテリー残量が数値（％）で表示されます。

13. メンテナンス



本画面では、プリンタの保守およびテスト操作を行います。

ノズル清掃、ノズルテスト、印字テスト、キャリッジモーターテスト、ファームウェア更新が可能です。
ノズル洗浄、ノズルテスト、印字テストを行う際は、認識されたカートリッジが装着されている必要があります。またインクが吐出されるため、周囲が汚れないように、ワイパーや不要な用紙の上で実施してください。印刷にかすれや途切れがある場合は、ノズルに異常がある可能性があります。繰り返し実施しても改善しない場合は「14.インクカートリッジ 保守」の項をお試してください。

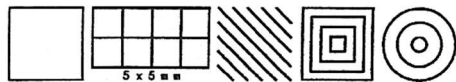
・ノズル洗浄：

「確認する」、もしくは「印刷ボタン」を押すとノズル洗浄を開始します。



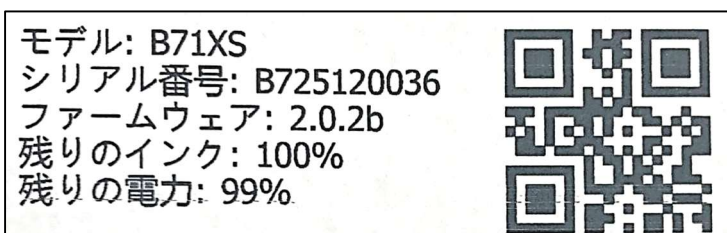
・ノズルテスト：

「印刷ボタン」を押すたびに、ノズルテストを1回実行します。



・印字テスト：

「印刷ボタン」を押すたびに、ノズルテストを1回実行します。



・モーターテスト：

カートリッジキャリッジを右端から最左端の印字位置まで移動させた後、元の位置に戻します。

・ファームウェア更新：

- ・ 通常の使用に問題がない場合は、アップグレードの必要はありません。

<注意>

ファームウェアをアップグレードする前に、プリンタのバッテリー残量が 50%以上あることを確認してください。電力が不足している場合は、アップグレード中に充電器を接続してください。アップグレード中に電源が切れると、プリンタが損傷するおそれがあります。

- ① [FW アップグレード]をタッチします。ファームウェアは、公式サイトからダウンロードするか、販売店に連絡して入手してください。
- ② USB ドライブを PC に挿入し、解凍したファームウェアファイル (*.acl 形式) を「firmwares」フォルダにコピーします。
- ③ USB ドライブを本機に挿入して電源を入れ、[デバイスマaintenance] → [ファームウェアアップグレード] に進みます。アップデートするファイルを選択すると、自動的にアップグレードが開始され、インジケータランプが黄色に点灯します。**更新中は USB メモリを取り外さないでください。**更新完了後、システムの電源が OFF になります。自動的に再起動します。
- ④再起動後、[設備情報] → [本体情報] でアップグレードが正常に行われたことを確認してください。

14. インクカートリッジ保守

長時間未使用時

プリンタを 4 時間以上使用しない場合は、
カートリッジを取り外し、付属の純正クリップを装着してください。
ノズルの乾燥を防ぎ、安定した印字品質を維持できます。

印字不良が発生した場合

手順 1：自動清掃

メイン画面から [メンテナンス] → [ノズル清掃] をタップします。
システムが自動的に少量のインクを吐出し、ノズルを清掃します。

手順 2：手動清掃

改善しない場合は、糸くずの出ないワイパーを使用してノズルを手動で清掃します。
清掃方法は、カートリッジの種類によって異なります。

水性カートリッジの場合

- ・ 乾いた糸くずの出ない布で、ノズルをしっかり押し当てて拭いてください。
- ・ 必要に応じて、蒸留水または脱イオン水で布を軽く湿らせて拭いてください。

溶剤系カートリッジの場合

- ・ 乾いた糸くずの出ない布でノズルを拭いてください。
- ・ もしくは、高濃度アルコールまたは 98%IPA を含ませた布で清掃してください。

拭き取り方法

ノズルの上から下へ、一方向に拭いてください。
こすったり、往復動作で拭かないでください。

手順 3：再度、自動清掃

メイン画面から [メンテナンス] → [ノズル清掃] をタップします。

注意事項

ティッシュペーパーや毛羽立つ布は使用しないでください。
繊維がノズルに詰まる原因となります。

応急対応

復旧しない場合は、ノズル列を「左から右」、「右から左」に変更することで改善する可能性があります。

15.トラブルシューティング・エラーメッセージ

No.	現象	原因	トラブルシューティング
1	起動しない	電池残量低、電池の損傷	電池の充電、電池の交換
		バッテリーの接触不良	電池を再装着
2	印刷出来ない	カートリッジ装着不良	カートリッジ再装着
		インク切れ	カートリッジの交換
		パラメータ設定が正しくない	工場出荷時に戻す
		印刷内容の編集が正しくない	印刷内容を再編集する
3	印刷が鮮明でない	カートリッジ装着不良	カートリッジ再装着
		インク切れ	カートリッジの交換
		パラメータ設定が正しくない	工場出荷時に戻す
		ノズルの汚れ、詰まり	ノズルをクリーニングする
		電池残量低	電池の充電、電池の交換

16.カスタマーサービス

ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。

17.製品に関する FA**質問 1：**

充電しながら印刷できますか？

回答：

はい、充電中でも通常通り使用できます。

質問 2：

他社製のインクカートリッジは使用できますか？

回答：

いいえ。純正インクカートリッジのみ使用可能です。他社製品との互換性はなく、使用するとプリンタに異常をきたすなどの状況を招く恐れがあります。

質問 3：

電源が入ったままカートリッジを出し入れできますか？

回答：

はい、可能です。

質問 4：

凹凸のある面に印刷できますか？

回答：

印刷は可能ですが、印字対象物との距離が離れると印字品質が低下する場合があります。

質問 5：

長期保管の使用でインクの吐出が悪くなったり、出なくなった場合の対処方法は？

回答：

以下の方法をお試しください：

- ① プリンタにカートリッジを取り付けた状態で、「12.デバイス情報」画面でインク残量を確認。
インクがない場合は、新しいカートリッジに交換してください。
- ② 「14.インクカートリッジ保守」の手順を実施してください。
改善しない場合は、インクカートリッジを交換してください。

質問 6：

印刷デザインが印刷されない

回答：

- ① 「14.インクカートリッジ保守」の手順を実施し、ノズルの詰まりがないか確認します。
- ② 印刷ボタンを押した後、インジケータランプが青く点灯しているか確認。
解決しない場合は、カートリッジのインク切れ・破損、または本体の故障の可能性があります。

質問 7：

印刷に細く白いスジが入る場合は？

回答：

- ① 「14.インクカートリッジ保守」の手順を実施してください。

質問 8：

プリンタがフリーズし、電源を切れない場合は？

回答：

電源スイッチで電源が切れない場合のみ、以下の操作を行ってください。

手順 1

バッテリーカバーのネジを取り外し、バッテリーカバーを外します。

手順 2

先端が樹脂製のピンセットなどを使用してバッテリーコネクタを慎重に外します。コネクタには向きがあるので外す際に記録しておいてください。作業時は配線やバッテリーを傷つけないように、コネクタ

を左右交互に少しずつ抜いていきます。断線や故障の原因となるため配線を引っ張ってコネクタを取り外さないでください。完全にコネクタが抜けたらプリンタの電源が OFF になります。配線やコネクタに異常がみられる場合は作業を中断してください。

手順 3

バッテリーコネクタを元通り差し込みます。コネクタの向きに注意し、間違った方向に無理に差し込まないでください。故障の原因となります。

手順 4：配線を挟み込まないようにしてバッテリーカバーを取り付け。ネジを取り付けます。

